



「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県ならびに日本の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で37回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者、または富山県内在住者とし、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に対して、賞状、奨励金を贈呈して、その活動を奨励しております。

今年度の贈呈式は、5月21日(木)に富山電気ビルで行われ、学術研究部門で2名、科学技術部門で1名、文化・芸術部門で2名、スポーツ部門で1組(2名)の計7名の方々が受賞されました。

例年行われる受賞者による記念講演は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、贈呈式に先立って受賞者と石井理事長の懇談が行われ、業績の内容や今後の抱負などを分かりやすくお話しいただきました。

第37回受賞者

学術研究部門 医薬分野(消化器外科)

大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 助教
牧野 知紀 氏

術前画像診断による難治性消化器がん個別化医療確立への貢献
-術前化学療法の新たな効果・予後予測法の開発-



学術研究部門 理工分野(光工学)

東北大学多元物質科学研究所 准教授
小澤 祐市 氏

ベクトルビーム光源の開発と超解像光イメージングへの応用



科学技術部門 (高分子材料科学)

富山県立大学工学部 准教授
遠藤 洋史 氏

表界面制御技術を駆使した高分子系多機能性マテリアル群の開発



文化・芸術部門 (彫刻)

日展、日本彫刻会、富山県彫刻家連盟所属、会社員
森田 一成 氏

未来多い若き彫刻家



文化・芸術部門 (建築)

富山大学芸術文化学系 准教授
横山 天心 氏

富山を活性化する建築デザインの探究とその実践



スポーツ部門 (バドミントン)

トナミ運輸株式会社

保木 卓朗・小林 優吾 ペア(写真左:保木氏、同右:小林氏)

第25回 世界バドミントン選手権大会 男子ダブルス準優勝



選考委員長選考経過報告



石井理事長より贈呈



受賞者と石井理事長との懇談